

牛群検定通信 No149

～ 牛がエサを食べなくなる理由 ～

今年夏は長く、長雨や豪雨もあり、大変な夏でした。秋になって気温が下がり、牛も調子を上げてくる時期ですが、調子を上げるためにはとにかくエサをしっかり食べ、不足しがちな栄養をしっかり確保する必要があります。しかし、いわゆる夏バテが出てきて牛が消耗する時期でもあります。

牛がエサを食べるといことは、酪農においては基本中の基本で、エサを充分摂取できない場合、乳量は低下し、繁殖も上手くいかず、酪農経営は一気に悪化の一途をたどります。しかしながら、現実では牛が必要なエサを食べてくれない事例が余りに多くあります。

牛がエサを食べなくなる状況といっても、千差万別です。いつ食べなくなるのか、また、どのように食べなくなるのか、それぞれ多種多様な要素があり、それらの原因もまた多種多様です。しかしながら、これらの症状をしっかり観察することで、エサを食べなくなる要因がかなり絞られてきて、見当違いの対策を行うことが低減し、正しい対応ができるようになりますので、いつどのように食べなくなるのかをしっかりと見極める必要があります。

乳牛がいつエサを食べなくなるのか、実際に牛を見ていると大変多くのケースがあります。酪農家にとって、牛がエサを食べない時期と言えば直ぐに頭に思い浮かぶのは、分娩前後、特に分娩後にエサを食べなくて、頭を抱えることが多いと思います。この原因はいわゆる周産期病と言われるものですが、それでも、具体的にはカルシウム不足なのか、肝機能の低下なのか、ルーメンアシドーシスなのか、後産停滞なのか、乳房炎になったのか等々、数多くの原因がありますので、症状から原因を特定していくしかありません。

牛がエサを食べない時期は、暑い時・寒い時、牛の入れ替えをした時、近所で工事があった時、等牛にストレスがかかった時にもエサの摂取量は低下しますし、足が痛い時や熱がある時、発情の時など通常とは体調が異なる時にも、エサを食べなくなります。更に、ウォータカップや水槽を掃除した後、コックの開き忘れで水が飲めなかった時や、冬期の水温低下で飲水量が低下した時などにも、飼料摂取量は低下します。

牛がエサをどのように食べなくなるのか、ということも重要な要因です。

- ① 急に食べなくなる
- ② 最初は少し残し、だんだん残す量が多くなる
- ③ ガツガツ食べていたのがゆっくりとなる
- ④ 食べなくなって量を減らすと食べるが、量を元に戻すと食べなくなる
- ⑤ 粗飼料は食べるが濃厚飼料は食べない
- ⑥ 濃厚飼料は食べるが粗飼料は食べない
- ⑦ 好きなエサは食べるが、嫌いなエサは食べない

等、どのように食べないのかということでも状況は様々です。しかしながら、これらの状況もいろいろ理由があって起こっていますので、理由が分かれば対策も分かる道理ですから、状況をしっかり見極めることが重要です。好きなものは食べるが嫌いなものは食べないなど、牛のわがままが原因の場合もありますので、病気ばかりだけではなく、牛の習性や特徴なども見極めておく必要があります。